

挨拶は世界を変える



下諏訪中学校 二年 篠遠 早紀

「石仏の心に響くありがとう」
私の住む下諏訪町には、阿弥陀如来をまつた万治の石仏というものがある。万治三年（一六六〇年）に諏訪大社下社春宮のすぐ傍につくられた。その立ち姿は堂々としていて、圧倒されるものがある。そんな下諏訪の守り神をモチーフにしたポスターが、町内のいたる所に貼られている。内容は、町民に挨拶の推進を呼び掛けるものだ。近年、下諏訪町では挨拶に力を入れている。その成果か、町の雰囲気が見えてきた。住民一人一人の心の交流ができるようになってきたのだ。

しかし、なぜそのように挨拶の推進をするようになったのだろうか。その背景には、町内の
「石仏の心に響くありがとう」
私の住む下諏訪町には、阿弥陀如来をまつた万治の石仏というものがある。万治三年（一六六〇年）に諏訪大社下社春宮のすぐ傍につくられた。その立ち姿は堂々としていて、圧倒されるものがある。そんな下諏訪の守り神をモチーフにしたポスターが、町内のいたる所に貼られている。内容は、町民に挨拶の推進を呼び掛けるものだ。近年、下諏訪町では挨拶に力を入れている。その成果か、町の雰囲気が見えてきた。住民一人一人の心の交流ができるようになってきたのだ。

も勇気がいる行動だ。それを実行する姿を見て、私は元氣をもらった。自分を人として、より高めていこうとする姿勢がこの行為につながったのだと思う。私たちは校外でも重点目標を意識した生活を送るようにしている。それを地域の方々が温かく見守ってくださっている。登下校中、道で会った人に挨拶すると誰もが笑顔で返してくれる。「頑張ってるね。いつてらっしゃい」と、声を掛けてくれる人もいる。近所の人との会話のきっかけにもなり、様々な年齢層の人と話をすると心が豊かになった気がする。

よつと、この傘持って行きなさいよ」と、声を掛けてくださった。おかげで濡れずに家まで帰宅することができた。「見守る会」の皆さんは、毎朝早くから通学路の途中に立ち、笑顔で挨拶をしてくださっている。私も、このように思いやりの心を持ち続けていきたい。

「石仏の心に響くありがとう」
私の住む下諏訪町には、阿弥陀如来をまつた万治の石仏というものがある。万治三年（一六六〇年）に諏訪大社下社春宮のすぐ傍につくられた。その立ち姿は堂々としていて、圧倒されるものがある。そんな下諏訪の守り神をモチーフにしたポスターが、町内のいたる所に貼られている。内容は、町民に挨拶の推進を呼び掛けるものだ。近年、下諏訪町では挨拶に力を入れている。その成果か、町の雰囲気が見えてきた。住民一人一人の心の交流ができるようになってきたのだ。

しかし、なぜそのように挨拶の推進をするようになったのだろうか。その背景には、町内の

も勇気がいる行動だ。それを実行する姿を見て、私は元氣をもらった。自分を人として、より高めていこうとする姿勢がこの行為につながったのだと思う。私たちは校外でも重点目標を意識した生活を送るようにしている。それを地域の方々が温かく見守ってくださっている。登下校中、道で会った人に挨拶すると誰もが笑顔で返してくれる。「頑張ってるね。いつてらっしゃい」と、声を掛けてくれる人もいる。近所の人との会話のきっかけにもなり、様々な年齢層の人と話をすると心が豊かになった気がする。

よつと、この傘持って行きなさいよ」と、声を掛けてくださった。おかげで濡れずに家まで帰宅することができた。「見守る会」の皆さんは、毎朝早くから通学路の途中に立ち、笑顔で挨拶をしてくださっている。私も、このように思いやりの心を持ち続けていきたい。

きた小さな行動が、形となって人の心を動かしたからだ。校内に広がっていった挨拶の輪は、地域にも発展していった。そして、動かしたものは人の心だけではない。町をも動かしたのだ。四つの学校の挨拶への取り組みが評価され、町全体の活動へとつながっていった。

一番身近な思いやりは、年齢性別、立場を問わない。誰かとすれ違うときに、たった一言かけてあげるだけで、それは最高の思いやりだと思う。周囲への感謝の気持ちを常に持って、みんなが温かい輪を広げていきませんか。

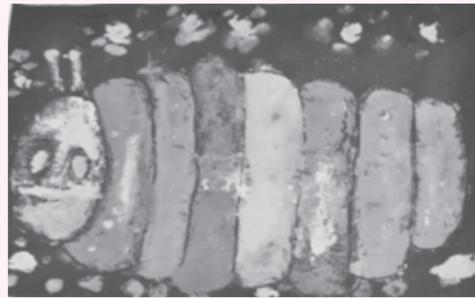
そのためには、自分から思い切って声を上げること。それが、学校から地域そして日本の原動力へとつながっていくと思う。人権は、守ることだけではない。築いていくことができる。これからの未来のため、私たちは自らの思いをしっかりと相手に伝えていきたい。（現在三年）

よつと、この傘持って行きなさいよ」と、声を掛けてくださった。おかげで濡れずに家まで帰宅することができた。「見守る会」の皆さんは、毎朝早くから通学路の途中に立ち、笑顔で挨拶をしてくださっている。私も、このように思いやりの心を持ち続けていきたい。

みんなの美術館



「表戸をふつとばす豆太」
下諏訪北小3年 古田 大貴（現4年）



「太っているいも虫君」
下諏訪北小3年 浜 柚乃（現4年）

教育委員会からのお知らせ

町民大学

演題：造化の妙～植物の不思議と感動～

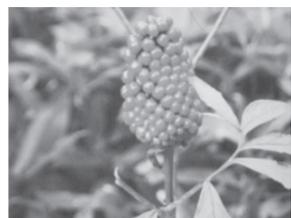
講師：石川 勝三（自然探訪の会 代表）

日時：6月9日（日）午後1時30分～午後3時

会場：下諏訪総合文化センター2階集会室

春のフキノトウに雌雄があり、マムシグサは性転換します。野山で自然観察を重ねる中で、ただ美しいだけでなく、そこに長い進化の中でいかに子孫を残すか。絶妙な精緻な仕組みとからくりに驚きます。多くの事例を踏まえ、山歩きを楽しむ・目つきを紹介します。

きっと何気なく見た花々に、新たな感興を持たれることでしょう。（講師コメント）



果実



お花



め花

25/3/9（土）～4/7（日）写真展「見て学ぶ花々の営みと仕組み」より（マムシグサ）